朝日町教育委員会8月定例会会議録

1　日　　時

令和8年8月25日（火）午前9時23分から午前10時40分まで

2　場　　所

朝日町エコミュージアムコアセンター「創遊館」会議室

3　出席委員

1　番　委　員	井 上　幸 弘	（以下「議長」という。）職務代理者
2　番　委　員	橋 間　博 美	（以下「2番委員」という。）
3　番　委　員	海　野　　睦	（以下「3番委員」という。）
4　番　委　員	桑　原　　誠	（以下「4番委員」という。）

4　職務のため出席した者の職氏名

教育文化課長	早 坂　健 一	（以下「課長」という。）
主　　幹	鈴　木　　誠	（以下「主幹」という。）
調　整　監	阿 部　正 文	（以下「調整監」という。）
課長補佐兼学校教育係長	菊地　早百合	（以下「菊地補佐」という。）書記
課長補佐兼室長補佐	海 野　裕 喜	（以下「海野補佐」という。）
指導主事	齊 藤　絵 里	（以下「指導主事」という。）
生涯学習係長	白　田　　淳	（以下「白田係長」という。）
義務教育学校創設準備室係長	菅 井　宏 支	（以下「菅井係長」という。）

5　会　　議

①　開　　会

課長より、開会宣言

②　あいさつ

教育長が入院加療中により欠席　井上教育長職務代理者があいさつ

③　会議録署名委員指名

課長より、2番委員を指名したい旨を諮り委員全員が了承

④　前回の会議録確認

議長より、7月定例会の会議録について質疑の有無を確認し、委員に諮り全委員が異議なく承認

⑤　教育長委任事項報告　　なし

⑥　報告事項

指導主事　－　令和8年度朝日町中学生海外派遣事業について報告

議　　長　－　質疑・意見の有無を確認

4番委員　－　今回は台湾だったが、来年度以降も台湾になるのか

指導主事　－　基本的に台湾と考えている。情勢不安もあるが、ホームスティ先の確保ができないため、アメリカでの実施が困難である

4番委員　－　あさひ未来学園になったときに海外の学生と交流するような予定はないか

指導主事　－　今のところ具体的な案はないが、あさひ未来学園になったとき最終学年で修学旅行として台湾を計画している。事前に台湾の学校と交流とかできるといいが、

様々可能性は探っていきたい

2番委員 － 今回、英会話はできていたか

指導主事 － 派遣生の様子を見ると、買い物や駅での乗り継ぎでまず英語が出てくる場面が多かった。改札を通れないトラブルなどで英語やジェスチャーで解決しようと頑張っていたが、日本語も通じるという安心感もあったと思う

3番委員 － 子どもの留学も台湾なのだが、台湾で英語が通じるか心配している

指導主事 － アジア人の外見だと中国語で話かけられたりするが、伝わらないときに次に英語が出て伝わりやすかった。現地の若い方は英語を使っている印象だった

議　　長 － 海外研修の目的が英語の学習とした場合、渡航先は今一度考える必要があると思う。保育園から9年間プラス3年間英語に力を入れているのに、例えばブリティッシュヒルズに何回も行くとか、英語学習を考えると台湾は疑問である

指導主事 － 報告の振り返りにも記載させていただいたが、研修プログラムの方向性を検討していく。あさひ未来学園になったときの英語研修先の案としてブリティッシュヒルズや東京グローバルゲートウェイなどの現在の研修先も今のところ外さないでいる。英語漬けの学習やまた郷土学習も含め、最終学年まで絡めていきながらどんなことができるか、もっと模索していきたい

議　　長－ 報告会はどのようになるか

指導主事 － 11月3日の芸文祭の時に報告を予定している

海野補佐
菅井係長 － 義務教育学校の進捗状況について報告

議　　長 － 質疑・意見の有無を確認

議　　長 － 8月21日の設計定例会に参加の委員より意見をいただきたい

4番委員 － 話が上がった物価高騰の影響が心配。入札前に試算するし、外せるものがないと思うのだがどれくらいの金額で出てくるのか、交渉等どうなるのかと、いろいろ考えるところがあった

2番委員 － 設計定例会は3時間にも渡って行われており、これまで10回、また今後もこの会議が続く訳だが、本当に細かいところの確認を集中して行われており設計会社と職員が一緒に進んでいるなと思った。図面の修正するだけでも大変だと感じた

議　　長 － 盛土のことだが、どの高さで平らになるのか

菅井係長 － 全景写真にて説明

2番委員 － 雨あがりに工事現場をみると住宅近くのところがぐちゃぐちゃになっていたのだが大丈夫か

菅井係長 － 全景写真にて説明　田んぼの土で粘土質なので雨が降るとぐちゃぐちゃになってしまう。このため、この部分には高さ20㎝ほど砂利を敷くようにする。土中には排水用の暗渠管を敷いて雨が降ったらそこに入ってくるように対策する

4番委員 － 町民説明会もそうだったが、議会の意見交換会も参加者が少なかった。関心がないのか。参加した区長からは廃校活用に関して町の方針はないのかという意見があった。あとで批判されるより、言えるところは言ってもいいのではと思うが

議　　長 － 年数たっているもの、そうでないものをある程度分別し、明確に示してほしい

議　　長 － その他質疑・意見の有無を確認（なし）

⑦ 附議事件

議　　長 － 議第18号令和8年度朝日町教育委員会事務事業（令和7年度分）点検・評価について説明を求めた

課長
調整監 － 資料により説明

議　　長 － 質疑・意見の有無を確認

4番委員 － 廃校管理費は旧立木小と旧大沼分校分だが、旧送橋小と旧上郷小の管理に係る費用はどれくらいなのかと懇談で話が出た
菊地補佐 － 旧立木小と旧大沼分校は教育財産であるため委員会で管理している。他は普通財産で総務課の管理となっている
4番委員 － これから廃校になる学校は教育財産になるか行政財産になるか決まっているのか。そういったところを地域の方は知りたいようだ
課　　長 － 閉校するにあたって、解体すると決まっているものは普通財産となる
調整監 － 管理計画の中で、老朽化のものは解体する方針。西五百川小と宮宿小の校舎、朝日中は全部解体。それ以外は利活用していく
2番委員 － 管理・検討する上で、解体が決まっているもの、使用できるもの箇所等の一覧があると分かりりやすいのでは
調整監 － 解体する前に町民の方等に利活用の希望がないか照会をかける予定。どのように進めるか庁内で意思決定を図り進めていきたい
議　　長 － 廃校に関しては意見が出やすいので議会対応もしていかないといけない
議　　長 － その他、意見の有無を確認
3番委員 － 総括のところで、教育委員の研修機会が減少しているとあるが
議　　長 － 山形県での研修がなくなった。また研修ではないが学校訪問や行事の参加等も減ってきている。義務教育学校関連で視察は行ったが
課　　長 － 西村山郡や東北6県の教育委員研修、研修ではないが小中学校訪問も継続し、今後も必要に応じた研修をしていきたい
2番委員 － 毎年度、細部まで詰めて事業の評価と方向性を示している。今後に生かせることが大事。事業の実施状況の欄は、昨年度と比較できるような書き方だともっと評価もしやすいのではないかと思った。あさひ未来学園をつくるにあたり、町の魅力って何だろうと考える機会になり、その核はやはりあさひ未来学園になる。そこをみんなで協力してやっていくという流れになっていってほしい。代行調理師の体制はどのようなものか
菊地補佐 － 西五百川小大谷小の調理師が休む時、宮宿小の調理師が代わりに入ることとしている。これまで代行をお願いしてきた調理師も高齢等で頼める方が少なくなってきたためこのような対応をしている
議　　長 － あさひ未来学園の給食の方式は決まったのか
課　　長 － まだ決まっていない。これから詰めていくことになる
議　　長 － 総括は毎年度、示唆に富んだ意見になっていると思う。記載の仕方も評価してもらえるような書き方であり、そういった点も大事だと思う。総括にあるようにあさひ未来学園の開校と小中学校の閉校が契機になり、町民が町の教育について考えるいい機会になるのではないかと思う
議　　長 － 他に質疑の有無を確認し、質疑が無いうえで表決について諮り、原案のとおり可決
議　　長 － 議第19号町議会の議決を経るべき議案に係る町長への意見の申出（令和8年度朝日町一般会計補選予算（第２号））について説明を求めた
課長外 － 資料をもとに説明
議　　長 － 質疑・意見の有無を確認
議　　長 － 宮宿小のLED化工事だが、どのうような工事になるのか
白田係長 － 天井の電球が昇降になる装置で、それに調整器を備えてLEDの電球を交換するになる。町民体育館もこの方法で行っており経費も抑えることができる
菅井係長 － あさひ未来学園もすべてＬＥＤの電気になる
議　　長 － 他に質疑の有無を確認し、質疑が無いうえで表決について諮り、原案のとおり可決

⑧　協議事項

議　　長　－　令和8年9月定例会及び第2回朝日町総合教育会議の日程について説明を求めた

課　　長　－　資料により説明し協議を求めた

議　　長　－　質疑及び意見が無いうえで事務局案のとおり決定

⑨　そ の 他

議　　長　－　その他、協議事項があるか確認（協議事項なし）

⑩　閉　　会

課長より、閉会宣言、午前10時40分　8月定例会の会議を閉会

会議録署名委員　　橋　間　博　美

教育長職務代理者　　井　上　幸　弘

調　整　職　員　　菊　地　早百合